

いわきの さんかくさん



～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



多様性を認め合う
いわき市を目指す会

割谷 洋恵さん
(わりや ひろえ)

Q&A

Q 昨年度どのような活動をしましたか？

A 昨年度に高校生3名で「多様性を認め合ういわき市を目指す会」を結成し、いわき市に同性カップルを公的に認めるパートナーシップ制度や学校での制服選択制の導入を求めて署名活動を行いました。7月のキックオフイベントから10月までの3ヶ月で5,228筆の署名が集まり、市に提出することができました。

Q 活動のきっかけは？

A 私がジェンダーに関して学ぶ中で、LGBTQ という言葉を詳しく知り、生きづらさを抱えていたりするなど、困難な状況下に置かれている人が、少なからずいるということに危機感を抱きました。何かしらのアクションを取りたいと考えていたところ、知り合いの紹介で LGBTQ支援団体の座談会に参加しました。そこでパートナーシップ制度等を導入するために、署名活動をしたいという旨を伝えたところ、応援してくれる方が多く行動へ移すことができました。

Q 活動をしていて良かったこと、大変だったこと。

A 人々の優しさに触れることができたということです。完全にボランティアなわけですから、誰も手伝ってくれる人はいないだろうと考えていました。ですが仲間たちに声をかけたところ、快く「やってみよう！」と答えてくれました。大変だったことは、メディアに出た際には散々ネット上で叩かれたことです。心無い言葉をかけられ、最初はメンタルがやられていましたが、学校などでこのことを話すと、「結局それって一部の人間しか言ってないから、気にする必要全くなし！」というように友人が言ってくれました。それがきっかけで自分が正しいと思ったことをブレずに挑戦すると心に決め、活動できました。重ねて協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

Q 今春からいわきを離れてみて地元の印象などに変化はありましたか。

A 東京に比べていわきは性的マイノリティが生活しにくい環境に自然となってしまうと感じました。東京には『東京レインボープライド』という大きなイベントや常設の総合LGBTQセンターがあります。これらのイベントや施設があることによって自然と性的マイノリティへの理解が広まり、生活しやすい環境になっていると感じました。いわきでも、このような取り組みがあると、理解が深まると思います。

私のおすすめの一冊

はじめて学ぶLGBT基礎からトレンドまで

石田仁 著・ナツメ社 出版

大学の先生や活動に関わったことがある方々から薦められてた一冊です。



いわきの さんかくさん 募集

自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウィングー
vol.61 2024年10月 発行

編集長：加藤 藤子

編集委員：影井 和也 小林美智子
鈴木かおり 緑川 琴江

発行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4
Tel.0246-41-9201 fax.0246-41-9202
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

いわき市女性活躍推進ポータルサイト

詳しくはこちら▶



あなたもwingに
参加してみませんか。
ご意見・ご感想を
ぜひお寄せください。
次回：3月発行です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。